

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

第229号
1月10日
平成30年(2018年)

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 久保直己/編集人 小川由美子
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



護王神社の絵馬 (京都市上京区)

撮影：吉田 智代 (芦屋支部)

- 新春対談 (うえの賢一郎財務副大臣・久保直己近税政会長) 3
- 第5回川柳・書道コンテスト受賞者発表 8

焦 点

2017年に起こった出来事を思い起こしてみる。お正月には、箱根駅伝で青山学院大学が3連覇を達成し、恒例の築地のマグロの初セリでは、史上2番目の高値7,420万円で落札された。米国ではトランプ大統領が誕生し、稀勢の里の横綱昇進で2017年がスタートした。車のレース好きの私には、佐藤琢磨選手のインディ500初優勝もうれしい出来事であった。将棋が好きの人、あまり興味がなかった人にも藤井四段の29連勝は明るい話題を提供した。多くの明るいニュースとともに、2月に起こった金正男氏の殺害事件やその後、ロンドンやパリなどで起こったテロ事件により多くの犠牲者が出るという

楽 観 主 義

悲惨な出来事も数多く発生したように思う。特に北朝鮮のミサイル問題は、国民の安心・安全な生活を脅かす大きな脅威である。われわれの頭上をミサイルが通過するというような、これまで考えられなかったような事が近年実際に起きてきている。このような外的な脅威とともに、少子高齢化や格差社会等が、将来に大きな不安を与えている。2018年はどのような出来事が起こっていくのだろうか。世界で起きる出来事の大半は、個人ではどうしようもできないことである。そのような中で、身近なこと、自分が関わることについて、できるだけ物事をプラスに考え、その時々気分にながされず楽観的に物事を考えていくようにしたいものだ。



年頭のことば

三方よしの政策実現を!

「社会によし、納税義務者によし、税理士によし」

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様には健やかに輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。皆様には、変わらず物心ともに温かいご理解とご支援を賜り、昨年も税政連活動に一定の成果を上げることができましたこと、厚くお礼と感謝を申し上げます。



会長 久保直己

第48回衆議院議員総選挙を終えて

今年と思われていた衆議院議員総選挙でありましたが、昨年の9月突然の解散により、政権与党には混乱がなかったですが野党は解散後に分裂するなど大きく混乱しました。私たちが推薦する税理士による後援会、特に野党議員の方で大きな混乱が起きたのはご承知のことと思います。

中でも、やむなく無所属で選挙戦に臨まれた現職議員が大変な思いで各地で演説会をされているのを現実に見ると、選挙の厳しさを肌身で感じました。野党統一を目指した民進党が無所属、立憲民主党、希望の党、民進党に分裂し、私たちの政治連盟の組織にも大きな影響をもたらしました。幸いにして、税理士による後援会は党派ではなく議員個人を推薦していますので大きな問題とはならないと思いますが、後援会の会員に対して、新たな政党に所属された議員の方は政党の方向性など説明責任を果たしていただきたいと思います。今後、税理士制度にかかる議員連盟の再構築が進められると思いますが、適切に対応してまいりたいと思います。

設立50周年協力募金に感謝

昨年の6月まで募集しておりました財政基盤強化のための協力募金であります。多くの方々から私たち税政連の活動に賛同していただき、心温まる募金をいただき役員一同感謝とお礼を申し上げます。早速の衆議院選挙でありましたが、余裕をもって対処する事ができました。今後も会員の皆様の思いを大切に、かつ適切に使わせていただきます。

税政連が推薦国会議員に期待するもの

まず、税理士とは何者かを理解していただく必要があります。この会報は推薦国会議員にも配布されますので税理士法第一条の使命に触れたいと思います。

税理士は独立した公正な立場、申告納税制度の理念、納税義務者の信頼にこたえ、納税義務の適正な実現を図ることにあり、この場合の納税義務者とはどの方をお考えでしょうか。真っ先に顧問先と言いたいところではありますが、すべての納税義務者と捉えなければなりません。このように、崇高な使命を持つ税理士会の意見の集約が建議書であり、作成された要望書でありますので、後援会等を通じていろんなご意見をいただきながら、その実現に向けてそれぞれで野党の立場で委員会等で発言をいただけることを願っております。

輝かしい未来のため、そして税理士制度と申告納税制度の発展のため、執行部一同努力してまいります。会員各位には変わらぬご理解と絶大なるご支援をお願いし、あわせて税政連活動、後援会への積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

皆様にとって今年も最良の年でありますよう祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



焦点	1	一斉陳情	10
年頭のことば	2	委員会紹介	12
新春対談	3	多可町議会議員選挙結果	13
後援会ニュース	7	会員研修会のお知らせ	14
第5回川柳・書道コンテスト		かんさいすずめ	15
表彰式・懇親会開催	7	銀河系	15

新春対談

場所:財務省 副大臣室

うへの賢一郎 財務副大臣 久保直己 近畿税理士政治連盟会長

司会 小川由美子 広報委員長

【政治家としての志や理念、
財務副大臣としての日常やご苦労】

(司会) 新年あけましておめでとうございます。ただ今より財務副大臣うへの賢一郎先生と久保直己近税政会長との新春対談をはじめさせていただきます。

うへの先生は自民党および政府において要職を歴任され、現在は財務副大臣として活躍されています。今後ますます重責を担っていかれることと存じますが、先生の政治家としての志や理念などお聞かせください。また財務副大臣としての日常やご苦労などもお聞かせください。

(うへの) おめでとうございます。政治家として、大切なのは「結果」を出していくことだと思っています。

現在、財務副大臣として活動をさせていただいておりますし、また地元のいろいろな事業にも積極的に後押しすることで、着実に実績を残していきたいと考えております。

そして、私自身が、滋賀県の地方都市の商店街で生まれましたので、地方の再生なくして日本の再生はないと考えております。地域の集まりが日本全国だと思っておりますので、それぞれの地域、地方がより一層元気になり、活性化していくことが重要だと思います。そのようなことを政策面でしっかりと裏打ちできるように取り組んでいきたいと思っております。

(久保) あけましておめでとうございます。うへの先生には、本日はご多忙の中お時間をいただきまして誠にありがとうございます。

それでは、次に財務副大臣としての日頃のご苦労をお聞かせください。

(うへの) 財務副大臣としては数か月しか経っていないのですが、基本的には、将来世代へ過



左から、うへの賢一郎財務副大臣、久保直己会長。度な財政負担を残さないということが一番を考えております。

そして、もう一方は、今、GDP600兆円を目指していますが、現在は540兆円で、人口が減っていく中でGDPを伸ばしていくのはなかなか難しいと思います。そこは生産性を上げることで、我々は一生懸命やっているのですが、経済成長もあわせて実現していかなければいけません。その舵取りが、財務省なり、政府全体としても難しいです。

経済と財政再建とが両立できるように、妥協せず、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

(久保) 国民の将来の不安をなくし、貯蓄から消費に向かうよう頑張ってください。

【新年の過ごし方や今年の抱負】

(司会) 政府・与党においては、財政問題をはじめとする諸問題に取り組み、また自民党税理士制度改革推進議員連盟では、事務局長としてその運営に尽力されておられます。

先生は常にその中心でご活躍され、お休みをとる暇もないほどお忙しいことと存じますが、新年の過ごし方や今年の抱負などもお聞かせください。



うへの賢一郎 財務副大臣

(うへの) 毎年、元旦は地元の長浜市内と彦根市内の神社の前に立ってあいさつをしております。

あとは、正月で皆さんご自宅にいらっしゃることが多いので、少々お邪魔かと思いますがごあいさつまわりをさせていただいたりしています。基本的に休みがないので、元旦の朝から活動をスタートしています。

(久保) 今回は選挙後初めての正月ですが、選挙で大きく他の候補を引き離され、先生は選挙区でただ一人の議員となり、今後とも選挙区を代表して頑張っていただきたいと思います。

(うへの) ありがとうございます。皆様方のご支援もあり今回も小選挙区で勝たせていただきました。それだけ責任は重いと思いますので、しっかり頑張っていきたいと思います。

(久保) われわれも、今後とも先生の政治活動をしっかりと支援していきたいと思います。さて、今年の抱負をお教えてください。地元の神社に行かれて何かお願い事をされたのですか。

(うへの) やはり世の中が安定していることが今の時代は特に大切だと思いますので、平和と安定ということを祈願します。

(久保) 昨今では、国際情勢に不安がありますが、そのあたりはいかがでしょうか。

(うへの) 平和な世界でありますようにと願っています。政府といたしましても、一体となり特に緊張する東アジアの対策には万全を期していかなければなりません。国民の命を守ることは政治の最も重要な使命です。

(久保) 先生はお子さまが小さいとおうかがいしておりますが、お正月は一緒にゆっくりお過ごしになることはできるのですか。

(うへの) 多分、別々になりますね(笑)。日頃からあまり子どもと接する機会がないので、できるだけ一緒にいるようにと思っています。たまにはお風呂に入れたりもしています。子どもに顔を忘れられないぐらいには接したいと思っています(笑)。

年末もずっと予算編成や税制改正があり、財務省の執務が多いので、東京にいなけいけい時間帯が増えます。それが終わると、12月末からは地元で。通常国会が始まるのが1月20日前後だと思いますので、それまでは地元をしっかりと回らせてもらおうと思っています。

【これからの日本の国づくり】

(司会) では、次に移らせていただきます。昨年は、有効求人倍率が1974年2月以来の高い数値となり、アベノミクスの効果を強く感じる年となりました。一方、若年者の非正規雇用の比率は非常に高い数値となっており、このままでは国民、特に若い世代が夢や希望を見いだせないのではないかと危惧されます。

活力ある日本の国づくりのために、少子化対策や教育をはじめ、夢や希望を見いだせる社会政策が望まれます。先生のお考えになるこれからの日本の国づくりや日本の目指すべき方向についてお聞かせください。

(うへの) 有効求人倍率は高度成長期以来の水準になりました。また、若い世代の人についていえば、就職内定率が98%で、これも史上最高です。ですから、ひと昔前のように大学や専門学校を卒業して就職できない、フリーターになるしかないという状況は、完全に解消されたと思います。

一方で、若年層の非正規雇用の率が高いという問題は、雇用者側の考えもあるとは思いますが、若い世代の人にもしっかりと頑張っていたいただかなければとも思います。そうしなければ日本

という国が成り立っていきません。

(久保) 少子化に歯止めがかかりません。教育無償化などひとつひとつの施策を積み重ねることによって子育ての負担を軽減し、少子化問題が改善されていくと思われませんが、その点はいかがでしょう。

(うえの) われわれは、全世代型の社会保障とっていますが、一連の選挙でも訴えさせていただいたように、幼児教育の無償化、教育費の負担の軽減を実現していきます。特に高等教育については、所得の低い世帯については無償化を目指していくという方向性は間違っていない。皆さんの負担を減らし、高等教育を受けられる機会を等しく与えることによって、育った環境にかかわらず夢や目標に向かってチャレンジできるような国、社会を目指していくべきだと思っています。

(久保) そうですね。子どもはみんな社会の宝ですからね。非正規雇用だとかシングルマザーの家庭だということ子どもたちが教育を受けられないという負の連鎖は断ち切り、みんなが等しく教育を受けられるというのが、一番大事なのかなと感じますね。

(うえの) まさしくその通りです。そのためにも若い世代も含め、貧困の問題に対してどう手当てしていくことができるのか、そのひとつが教育費であり、これからもしっかり取り組んでいきたいと考えています。

【山積する課題に対して】

(司会) それでは次のご質問ですが、政治は税なり、税は政治なりといわれます。所得税の改正、法人税の実効税率の引き下げ、消費税の複数税率の問題、番号制度の国民への取り組みと課題が多くあります。先生のお考えをぜひお聞かせください。

(うえの) 毎年、税理士会の皆さんから建議書という形で税制改正について要望をいただいております。まさに時宜に合ったといえますが、我が国が直面する喫緊の課題に対して、税制が



久保直己 近畿税理士政治連盟会長

どのように関わるべきか、あるいはどのような対応策を講ずるべきかを、しっかりとご意見をいただいているかと思えます。われわれもそれを真摯に受け止めて、少しでも実現できるように努力をしていきたいと思えます。

(久保) これからの課題は、所得税改革だろうと思えます。給与所得控除の問題など、いろいろありますけれども、今の時代にふさわしい所得税の構造を考えていかなければならないと思えます。

(うえの) 近年、ICTの普及等に伴い、個人がスキルを活かしてフリーランスとして働いたり、子育て中の女性が在宅で仕事を請け負ったりするなど、働き方が多様化しています。改正案では、様々な形で働く人を応援する観点から、給与所得控除・公的年金等控除の一部を基礎控除に振り替えました。その際、子育て世帯、介護世帯へ配慮を行うなど、ほとんどの方には今までより負担が大きくなるように工夫しています。

(久保) 法人税に関しては、アメリカは実効税率を20%にするなどという話があり、日本もこれからいろいろ議論をしていく必要があると思えますが、いかがでしょう。

(うえの) これまでの改革で日本の法人実効税率を欧米並みに引き下げてきましたが、必ずしも賃金引上げや投資促進につながっているとは言いきれません。改正案では、所得拡大促進税制を対前年度基準に見直したり、生産性の向上に資する質の高い投資への優遇措置を導入した

りして、賃金引上げや投資を後押ししています。

(久保) 中小企業の事業承継税制についても、われわれ税理士は中小企業を中心に顧問をさせていただいていますが、これからの時代、利益が上がっていても後継者がいないので廃業しか選択肢がないという中小企業が多く出てくると予想されます。今回の事業承継税制の改正案についてお聞かせ下さい。

(うえの) 中小企業経営者の高齢化が進む中、スムーズな事業承継を税制でバックアップすることが必要です。改正案では、代替わりを集中的に進めるため、10年間と時期を区切って、抜本的な拡充を行いました。具体的には、納税猶予の対象について、総株式の最大3分の2、猶予割合80%といった制限をなくし、承継株式の全額を納税猶予可能としました。また、人手不足を踏まえて雇用確保要件を弾力化するとともに、複数人への承継など様々な承継パターンに対応可能とするなど、使い勝手の良い制度としています。

【税理士へのメッセージ】

(司会) では、最後に移らせていただきたいと思います。今後、税理士および税理士業界はどうあるべきかなど、ご意見を頂戴できますでしょうか。また、近畿会、約1万5千人への税理士へのメッセージをぜひ賜りますようお願いいたします。

(うえの) 税理士の皆さんには本当に国の根幹の税制のところでお支えいただいていますので、しかも納税者、中小企業の皆さんの目線で頑張ってくださいるので、これからもますますご活躍いただけるような環境づくりを、われわれもしっかりやっていきたいと思っています。

議員連盟の仕事もさせていただいておりますので、制度の改正などご要望があればどんどん提言していただきたいと思っておりますし、税理士の皆さんが活躍していただけるように、われわれもしっかりと一緒に頑張っていきたいと思いま



左から、小川由美子広報委員長、本城善男後援会長、うえの賢一郎財務副大臣、久保直己会長、田達満幹事長

す。

(久保) ありがとうございました。大変お忙しいなか、新年号を飾るにふさわしい素晴らしいお話を聞かせていただきました。心より感謝を申し上げ、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

(司会) うえの先生におかれましては、政務ご多用中にも関わりませず、新春対談にご臨席賜りまして厚く御礼申し上げます。語りつくせないところもあったかと存じますが、うえの先生の今後のさらなるご活躍を祈念申し上げまして新春対談を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

うえの賢一郎 財務副大臣 略歴

(滋賀2区・自民党)

昭和40年	滋賀県生まれ
平成2年	京都大学法学部 卒業
平成2年	自治省入省(現総務省)
平成17年	第44回衆議院議員総選挙 初当選 ※現在4期目
平成19年	自民党税制調査会 幹事
平成26年	国土交通大臣政務官
平成27年	自民党財務金融部会 部会長
平成27年	財務金融委員会 理事
平成28年	自民党経済産業部会 部会長
平成28年	経済産業委員会 理事
平成28年	環太平洋パートナーシップ協定等 に関する特別委員会 理事
平成29年	財務副大臣

後援会ニュース

伊吹文明後援会 懇談会



日時 平成29年10月28日

場所 京都ロイヤルホテル&スパ

来賓 伊吹 文明 衆議院議員

浅田 恒博 日税連副会長

久保 直己 近税政会長

北村 善和 近税会副会長

田 達満 近税政幹事長

司会の松村一郎幹事長が開会を宣し、来賓紹介の後、北條巖会長は、伊吹議員にこれまでの感謝の辞を述べた。

浅田日税連副会長より神津信一日税連会長の祝辞が代読され、久保近税政会長が衆議院議員総選挙で建議書配布が遅延したことを報告した。

伊吹議員は最初に今回の総選挙で安倍内閣に対する信任が不信任を上回り承認を得られた。アベノミクスはカンフル剤として金融緩和により成長率・求人倍率・株価の上昇をもたらしたものの、その効果は地方にまでは波及していないのではないかと昨今の経済情勢を述べた。

北條会長から税理士法改正に関する要望書を手渡し、引き続き懇親会が開催され、田幹事長乾杯の発声により来賓者と出席者が和やかに懇談し、北村副会長の中締めにより閉会した。

(上京支部 東智之)

第5回 川柳・書道コンテスト表彰式・懇親会開催

平成29年9月21日、国民會館にて「第5回川柳・書道コンテスト」の表彰式および懇親会が開催された。当日は、受賞者と主催者側の役員、外部審査員が集っておこなわれた。

コンテストにおける応募点数は総数221点(内訳：川柳74点、書道テーマ部門39点、書道自由部門36点、書道硬筆部門72点)であった。そこから厳選なる審査を経て、最優秀会長賞・優秀賞などが選ばれた。会場内では第51回定期大会時と同様に、表装された書道の受賞作品が掛けられ、また川柳の受賞作品も公表された。

はじめに久保直己会長が主催者を代表してあいさつした後、受賞者に対して賞状と記念品が授与された。表彰式の後、外部審査員である書道家の丸橋正光先生から作品に対する講評が一点ずつおこなわれ、公務で欠席の川柳作家の大西泰世先生のメッセージが代読された。



昼食を囲んだ懇親会では、受賞者一人ずつ登壇し、応募動機や経緯そして応募作品への想いを述べた。受賞者のエピソードを聞いて出席者は和やかな雰囲気にもまれた。5回目のコンテストであったが、近畿税理士政治連盟の意義と活動内容を改めて外部に周知した機会となった。最後に、後安副会長のお礼のあいさつにより閉会となった。

第 5 回

川柳・書道コンテスト

受賞者発表

(敬称略)

書道コンテスト テーマ部門 テーマ/近畿税政連・焦点

最優秀 会長賞

今田 幸史
伊丹支部



※本号(229号)から「焦点」題字になりました。

優 秀 賞

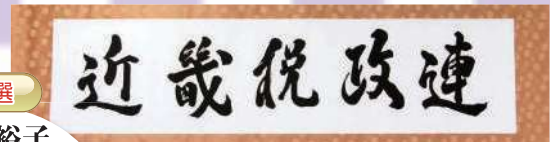
黒石 健弘
北支部

※本号(229号)から「表紙」題字になりました。



入 選

道廣 裕子
枚方支部



入 選

篠田 直大
下京支部



る	税
専	理
門	士
家	は
と	
し	税
て	務
	に
独	関
立	す

最優秀 会長賞

吉原 淑美
東成支部

書道コンテスト

硬筆部門

税	理	士	は		税	務	に	関	す
る	専	門	家	と	し	て		独	立

優 秀 賞

根末 和夫
泉佐野支部

入 選

関谷 洋子
豊能支部

る	税
専	理
門	士
家	は
と	
し	税
て	務
	に
独	関
立	す

募集期間:平成28年9月9日~平成29年6月16日

書道コンテスト

自由部門



最優秀 会長賞

小倉さやか
上京支部



優秀賞

黒石 健弘
北支部



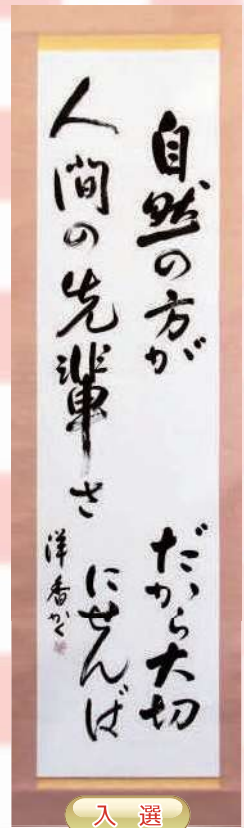
幹事長特別賞

西川 孝敏
奈良支部



入選

吉田 廣彰
葛城支部



入選

藤原 洋子
福知山支部

川柳コンテスト

広報委員長特別賞

和中 信隆
泉佐野支部

神ってる
節税方法?
それ脱税

入選

仕田原 恒雄
住吉支部

税理士と
しての矜持きんぢで
歩む日々

入選

川淵 佳子
明石支部

小学生
知ってほしいな
税って何?

優秀賞

辻井 賢博
葛城支部

税政連
脇役に
いぶし銀

最優秀 会長賞

大谷 邦彦
富田林支部

爺々じいじいは
僕が支える
明日の税

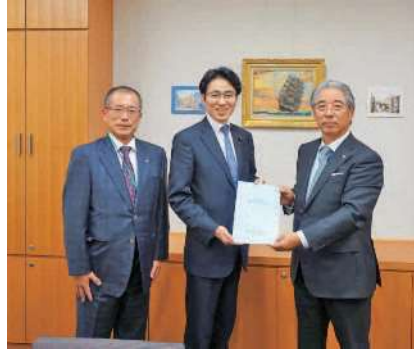
一 斉 陳 情

11月8日、国会議員を訪問し、一斉陳情をおこなった。日税連・日税政が取りまとめた平成30年度税制改正要望項目の実現に向けて協力を求めた。

(陳情先国会議員は写真の通り、訪問順)



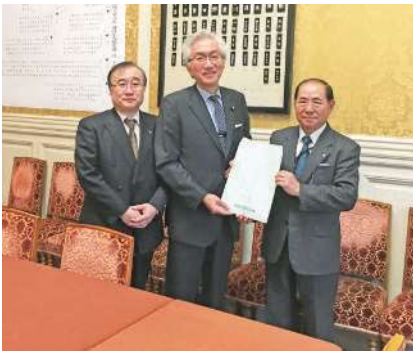
福山哲郎 参議院議員



國重 徹 衆議院議員



原田憲治 衆議院議員



西田昌司 参議院議員



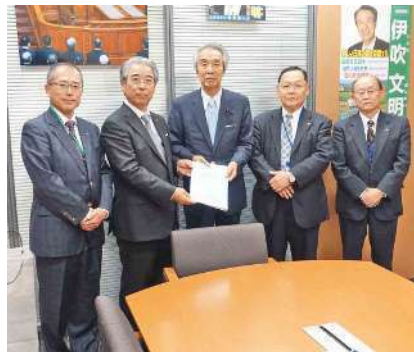
こやり隆史 参議院議員



高市早苗 衆議院議員



長尾 敬 衆議院議員



伊吹文明 衆議院議員



伊藤孝江 参議院議員



宗清皇一 衆議院議員



奥野信亮 衆議院議員



盛山正仁 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



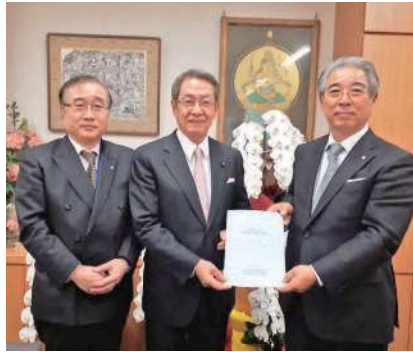
北側一雄 衆議院議員



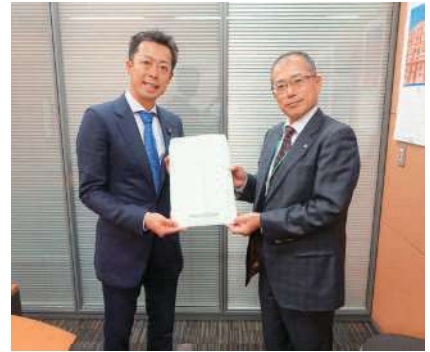
左藤 章 衆議院議員



松川るい 参議院議員



石田真敏 衆議院議員



谷川とむ 衆議院議員



山本香苗 参議院議員

広報委員会からのお知らせ

第6回『川柳』『書道』コンテストのご案内

応募要領

- ①川柳コンテスト
- ②書道コンテスト テーマ部門 題字「焦点」もしくは「近畿税政連」
- ③書道コンテスト 自由部門 題字自由
- ④書道コンテスト 硬筆部門 テーマ(税理士法第1条冒頭より20文字)

応募期間：平成30年1月1日(月)～平成30年6月8日(金) 必着

応募用紙・応募規定・応募サイズなどの詳細は、近畿税政連ホームページの会員専用ページより。

近税政HP：<http://www.kinzeisei.jp/>

※会員専用ページのパスワードのお問い合わせは近畿税政連事務局(06-6944-9040)まで。

～平成30年度税制改正で協力要請～

○ 平成30年度税制改正要望最重点項目 ○

- ・消費税における単一税率及び請求書等保存方式の維持について
- ・所得控除の抜本的見直しについて
- ・中小法人に対する繰越欠損金控除制限及び外形標準課税の不適用について
- ・償却資産に係る固定資産税の抜本的見直しについて
- ・個人事業者番号の導入について

本部7委員会の紹介

政策委員会

政策委員会は、平成29年度運動方針・委員会方針に沿って、基本政策の企画・立案をおこなってまいります。また、日本税理士政治連盟および近畿税理士会との連絡調整を図り、会員ひとりひとりの税政連活動への理解・協力をより深めていただけるよう、他の委員会と連携しながら活動をしていく所存でございます。

(政策委員長 道廣友厚)



財務委員会

財務委員会は、財政の確立強化と健全な運営を図ることが目的です。昨年は設立50周年協力募金に多数の方々からご支援をいただきましてありがとうございました。本年度も会費収納率の向上策を検討し、会費の収納額のアップを目指して新しい委員の皆様と一緒に頑張ります。ご協力をよろしくお願いいたします。

(財務委員長 山本眞市)



組織委員会

組織委員会は、諸規定の整備を通じて内部規律を高め、組織の充実を図り、より適切な組織を確立して参ります。また組織の活性化を図るべく、当連盟ならではの会員研修会を企画していきます。同時に支部連・支部の効率的、機能的な活動並びに支部連・支部及び後援会の連携強化のための施策を検討し、実施します。

(組織委員長 石津良行)



国対委員会

国対委員会は「税理士による国会議員等後援会」等を軸として国会議員との接触を密にし、懇談会等を積極的に設営します。また、当連盟の事業遂行に必要な国会対策を樹立し請願・陳情等の具体的運動を実施し、われわれ税理士会の税制改正等要望事項の実現が得られるように活動をおこなってまいります。

(国対委員長 小寺隆弘)



選対委員会

選対委員会は「国会議員等の選挙において推薦候補者に対する応援体制を確立し、強力な支援活動を展開する」「公職選挙法および政治資金規正法等について随時研修会を開催し、適切な指導を行う」という活動方針のもと、日々変化する社会環境に適合した選対活動の実現を目指してまいります。

(選対委員長 長谷川隆史)



後援会対策委員会

後援会対策委員会は、活発な後援会活動をおこなっていただいている実情を把握するため、委員が手分けして後援会を訪問したいと思っております。その際、お互いの情報を交換し、われわれ委員会と後援会の信頼関係を強固なものにしていきたい。また、財務委員会と連携し会費収納のお願いも同時におこなっていく予定です。

(後援会対策委員長 室谷澄男)



広報委員会

7つの委員会の内、唯一女性の委員長である広報委員会は、税政連の執行機関の一部門として、その責任を負う立場にあります。本紙の編集に対し、女性の視点から、時には鋭く、時には和気あいあいと議論を重ね紙面作りをしています。会員や政治家の皆様、役に立つ有益な情報を提供することを目指し、努力しています。

(広報委員長 小川由美子)



多可町議会議員選挙 推薦候補者が当選

任期満了に伴う多可町議会議員選挙が平成29年11月14日告示、同19日投開票により施行された。

本部では、第2回推薦審査会を10月3日に開催し、兵庫県第2支部連より多可町議会議員選挙推薦候補者として報告のあった現職の橋尾哲夫氏はしおてつおについて「地方議会議員選挙における税理士会会員たる候補者の推薦条件」に基づき慎重に審議をおこない、多可町議会議員選挙における同氏の推薦を決定した。

今回の選挙については無投票となり、当連盟推薦候補者の橋尾哲夫氏が当選をした。

本部7委員会構成員

※前号より一部追加がありました。

Table with 8 columns: 政策委員会, 財務委員会, 組織委員会, 国対委員会, 選対委員会, 広報委員会, 後援会対策委員会. Rows list members for various committees across different prefectures like 河内, 山本, 徳富, etc.

<切り取り不要>

会員研修会「宮沢洋一自民党税制調査会長 来阪！」

(近畿税理士会認定研修3時間)

1月27日(土)に会員研修会を開催いたします。参加ご希望の方は、申込書の記入・提出が必要です。お申込は、近畿税理士会会報誌(先月号)に同封の申込用紙もしくは、このページをコピーの上、下記の申込欄にご記入いただき、近畿税政連事務局(FAX:06-6944-9050)までお申込みください。

- [日時] 平成30年1月27日(土) 13時30分~16時30分(13時00分受付開始)
[会場] 大江ビル13階 会議室 (地下鉄「谷町四丁目」駅下車8番出口より徒歩1分)
[内容] 第1部「平成30年度税制改正の実務的対応」(講演) 講師 藤本幸三 近畿税理士会 常務理事・調査研究部長
第2部「平成30年度税制改正と今後の行方」(講演) 講師 宮沢洋一 参議院議員 自民党税制調査会長

[受講料] 2,000円(当日申し受けます)

※お申込先着順で定員に達し次第締め切ります。(定員200名)

※定員超過後にお申込の方には受講お断りのFAXを差し上げます。

※当日は、近畿税理士会研修部から配付しております『研修受講カード』を必ずお持ちください。

<切り取り不要>

近畿税理士政治連盟事務局 行

平成 年 月 日

FAX 06-6944-9050

「近畿税理士政治連盟会員研修会」受講申込書

Form with 4 columns: 所属支部, 氏名, 登録番号, 電話番号, FAX番号.

会の名称？

平成28年1月から、独立開業した税理士仲間や現在独立開業しようと計画している友達税理士など約10人で、月1回の勉強会を実施しております。税務・会計が複雑化・高度化している昨今、税務解釈や関与先さんの事業に係る問題に対応するためには、1人ですべてを網羅することは困難であり、いろいろと相談できる場があるといいねということから発足されました。

この勉強会で取り上げられる内容は、税制改正に関すること、外部講師として弁護士さんや司法書士さんを招聘して民事信託、社労士さんによる助成金の話、銀行の融資担当の方に銀行目線からの事業性評価の方法など本当にさまざまです。また現在自分の関与先さんの税法解釈に悩んでいる案件について事例発表があり、その法解釈などを相談しあい、本当に有意義な勉強会だと思います。

勉強会の後は、参加できる人だけで懇親会を行います。アルコールの力もあり、事務所経営をどのようにしているか(顧客拡大や関与先満足度向上など)、自分のライフサイクルをどのように考えているかなど、かなり突っ込んだ話になることもあります。

こんなにとても有意義な会なのですが、発足して約2年が経過しようとしているにもかかわらず、いまだに会の名称が決まっておられません。税務だけではなく、関与先さんが関係しそうなものであれば何でも議題に上がるため、会の名称がなかなか決められないというか…。勉強会の本題に集中しすぎて、会の名称となるとトーンダウンしてしまうというか…。

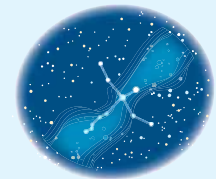
この勉強会の平成30年の年始の目標は、まずは会の名称を決定することにしたいと、勝手に思っております。
(枚方支部 河合克彦)



近税政本部のうごき

- 第3回広報委員会(10月17日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・今後の委員会運営について
 - ・機関紙第227号(10月号)の批評
 - ・機関紙第228号(11月号)の編集に関する件
 - ・機関紙第229号の編集企画に関する件 他
- 第4回正副幹事長会(11月2日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・各委員会の課題と対策及び今後の活動について 他
- 第2回国対委員会(11月2日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・委員会の課題と対策について
 - ・今後の委員会運営について 他
- 政策・財務・組織合同委員会(11月10日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について
 - ・支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議の開催について 他
- 第2回選対委員会(11月20日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について
 - ・第48回衆議院議員総選挙の結果について
 - ・支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議の開催について 他
- 第2回後援会対策委員会(11月24日)
 - ・平成29年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について
 - ・支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議の開催について 他

銀河系



新年にあたって

このたび、このコーナーを任されることとなりました。成年の新年早々の1回目ということで、何かおめでたいことを書こうと思いましたが、今まで知らなかったことや、初めて知ったことをつらつらと述べます。

- ①この銀河系が編集後記であること
 - ②この機関紙が年8回も発行されていること
 - ③某新聞社の編集基準に沿って、漢字とひらがなのルールがはっきりしていること
- 機関紙についての編集会議では前号の記事の反省、今回発行予定のグラ原稿の入念な校正、次回発行予定の編集企画を毎回行ない、より充実した紙面を追求しています。この豊富なカラー写真で飾られた機関紙には、焦点、かんさいすずめ、後援会だより、川柳書道コンテスト、銀河系等のたくさんのコーナーがありますので、ぜひ愛読していただくことを望みます。

(吹田支部 高木晴雄)

「焦点」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞(作=今田幸史 伊丹支部)

「表紙」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 優秀賞(作=黒石健弘 北支部)

迎春



明けましておめでとございます。
本年も何卒よろしく
お願い申し上げますとともに
組合員並びに賛助会員の皆様の
ますますのご発展をお祈り申し上げます。

二〇一八年



大阪・奈良税理士協同組合

理事長 西田 隆郎

副理事長 角本 浩一 吉本 利夫 松本 圭一 藤本 純 上田 実

専務理事 辻本 典彦 山村 典之

常務理事 吉村 正浩 岡本 恒彦 寺脇 淳司 榊山 京子 林 典男 根来 直代 小市 哲男

〒540-0012 大阪府中央区谷町1-5-4 近畿税理士会館11F

TEL(06)6941-6888/FAX(06)6947-2800

<http://www.hanna-zeikyo.jp>